

記録の書き方

-専門職の介護行為を可視化すること-

【講義・演習】

▽日時／2026 年 1 月 21 日(水) 10:00～16:00

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室
(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／24 名(先着順)

▽受講資格／市内福祉施設・事業所に従事されている方で本テーマに興味・関心のある方

▽受講料／無料

▽申込方法／FAX・メールまたは HP からお申し込みください【定員到達次第締め切りとなりますので予めご了承ください】

研修のねらい

介護職として、「記録の重要性」は誰しも認める場所だと思います。

では、その重要性とは具体的には何を基準としているのでしょうか？記録とはそもそも専門職がその専門性を発揮した証です。どのような事実があり、どのように職員が関わっていったのか・・・その「書き方」は、たとえ ICT 化が進んだとしても、原則を知っていなければなりません。

介護現場で働く方々としては、何をどう書いたらいいのかを学ぶ必要がありますし、記録を見る側のサービス提供責任者やフロア責任者としては、それに加えてどのように指導するかのポイントも知る必要があります。正しい記録を正しく分析することで、良いアセスメントにもつながります。

本研修では、全国各地で介護職向け講座を展開している佐藤講師をお招きし、記録には何が必要なのか、情報共有のポイントは何か、専門職の行為を正しく「可視化」するためにはどうしたらよいのかについて講義・演習を通じて確認していただきます。

講義内容(予定)

1. ICF を通じて考える支援の専門性
2. 介護職のしている支援を文字化する
3. 介護記録に挑戦(演習)
4. 質疑応答

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センター<http://www.chiba-shakyo.jp/kc/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村